

令和 6 年 1 月 4 日 メルボルン交流抄

「サッカーが結ぶ日豪交流～続編」

新年あけましておめでとうございます。今年も多岐にわたる「人と人との交流」を取り上げて、それが強固な日豪関係の基盤を築いていることを紹介させていただきたいと思います。

前々回、現在オーストラリアの A リーグ(プロの一部リーグ)の「アデレード・ユナイテッド」で活躍する指宿洋史(いぶすき ひろし)選手を紹介しました。今回は、同じく A リーグの「ウェスタン・ユナイテッド」(本拠地メルボルン)で活躍する元 J リーガーの2人の日本人選手を紹介します。今シーズンも半ば、これからもご活躍を期待しながら応援しています。



一人は今井智基(いまい ともし)選手。2019/2020 年のシーズンから活躍されていて、A リーグの外国人枠で来豪した日本人選手の中では最も長期にわたってプレイされています。ポジションはディフェンダーでチームにとっては欠かせない守備の要の選手です。同僚の選手の兄貴分のような存在でしょうか。2023 年にはオーストラリアとニュージーランドの共催でサッカー女子 W 杯が行われました。メルボルンにおられる多くの日本人の方々が、なでしこジャパンを応援しようとパブリックビューイングに集まった際、今井選手も家族とご一緒に来られていました。ピッチの中の鋭い目つきとは対照的に、オフシーズン中の優しいお父さんの姿を垣間見させていただきました。



もう一人は、2023/2024 シーズン前に「ブリスベン・ロアー」から「ウェスタン・ユナイテッド」に移籍してきた檀崎竜孔(だんざき りく)選手です。檀崎選手はスピード感溢れるプレイが特徴的なフォワードの選手です。「ブリスベン・ロアー」時代、チームの得点王にもなられています。これからも攻撃の要として ますますのご活躍を期待しています。

今井選手、檀崎選手のお二人とも、日本人の子供たちのみならず、オーストラリアの子供たちにも人気があります。試合終了後、長い間、目を輝かしてサインや写真を求める子供たちに笑顔で応じておられました。これからも日豪の子供たちに夢を与えてください。

